

競 技 注 意 事 項

1. 規則について

本競技会は2017年度日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会要項により実施します。
ただし、参加競技者が児童であることを考慮し、教育的配慮のもとに行います。

2. 競技者インフォメーション（T I C）について

本競技会では、競技会に対する問い合わせ及び申し出の窓口として競技者インフォメーション（T I C）をメインスタンド入口付近に設置します。問い合わせ及び申し出がある場合の窓口は、原則として、競技者インフォメーション（T I C）のみとさせていただきます。

3. 大会プログラムについて

- (1) 大会当日、競技者インフォメーション（T I C）にて配布します。
その際、ナンバーカードも併せて配布します。
- (2) 大会プログラムに訂正箇所（氏名、フリガナ、学年、所属等）があった場合には、8時45分（もしくは出場する競技の60分前）までに申込責任者が競技者インフォメーション（T I C）に申し出てください。正式結果発表後の訂正（賞状及び記録証の訂正を含む）には、一切応じません。
- (3) プログラムは残部がある場合、9時00分より競技者インフォメーション（T I C）にて販売します。

4. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは主催者で用意し、大会当日に競技者インフォメーション（T I C）にて配付します。ナンバーカードは、競技を行う際に着用するランニングまたはTシャツ等の胸と背に、四隅を安全ピンで確実にとめてください。
- (2) トラック競技出場者には、招集時に写真判定用の腰ナンバーを貸与します。リレー競技の場合は第4走者のみ付けます。なお、腰ナンバーは、競技終了の都度、フィニッシュライン付近で返却してください。

5. 参加賞と小学生登録証について

- (1) 大会当日、Bゲート付近にて配付します。上記3及び4の配付場所とは異なりますのでご注意ください。
- (2) 配付時間等については、大会当日、アナウンスにてお知らせします。

6. 招集について

- (1) 選手招集は、トラック競技・フィールド競技ともに、100mスタート付近ダッグアウト内で行います。
- (2) 招集は本人のみで、代理人による招集は認めません。ただし、同時に2種目出場する者は、事前にその旨を競技者係及び審判員に申し出て、競技に参加してください。
- (3) 各種目の招集時刻は、競技日程に記載の通りです。

- (4) リレー競技に出場するチームは、招集完了時刻の60分前までにオーダー用紙を競技者係へ提出してください。オーダー用紙は競技者係に用意してあります。また、決勝では予選とは別に、再度オーダー用紙の提出が必要となりますので、ご注意ください。
- (5) 招集に遅れた者（チーム）、オーダー用紙の提出が遅れたチームは競技に出場できませんので、時刻を厳守してください。
- (6) 招集場所へは、競技に出場する際のナンバーカードをつけたランニングまたはTシャツを着用して集合してください。
- (7) 招集の際の付き添い等は、競技運営に支障をきたす恐れがあるため監督及びコーチのみとしてください。

7. 競技について

(1) トラック競技について

- ①トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とします。
- ②トラック競技における決勝のレーン順は公正に抽選し、その結果を掲示板に掲示して発表します。
- ③視覚障害者がトラック競技に参加する場合の伴走者は助力とみなしません。伴走者のために隣のレーンを割り当てます。
- ④スパイクシューズを使用することができますが、スパイクのピンは全種目全天候性走路用9mm以下を使用してください。
また、素足での競技出場は、火傷等の危険があるため禁止します。
- ⑤60m、100m、60mH、80mH、4×100mR第1走者のスタートはクラウチングスタートでもスタンディングスタートでも構いません。スターティングブロックが使用可能な種目は100m、80mH、4×100mRの決勝のみです。セッティングは速やかに行ってください。

※スタートに関するルールは全国大会に準じます。

スタートは日本語で行います。
同一人が2回不正スタートした場合は失格とします。
ただし競技には参加させ記録は参考記録とします。

- ⑥800m以外のトラック競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走り、他のレーンに入らないでください。
- ⑦800mのスタートは、オープンで行います（レーンを使用しません）。
- ⑧ハードル競技は以下の規格により行います。

種目	スタート～第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードル～フィニッシュ
3・4年 60mH	12m	60 cm	6m	7台	12m
5・6年 80mH	13m	70 cm	7m	9台	11m

- ⑨リレーのメンバー変更については申込時のメンバーの範囲内とします。
(リレーメンバー変更についての競技規則170条10は本競技会では適用しません。)
- ⑩リレーにおける第1、第2、第3走者はテークオーバーゾーン内でバトンパス完了後も自分のレーン内にとどまってください。テークオーバーゾーン手前10m以内からの助走は認めず。マークは各チームで用意し、レース後前走者が必ず取り外してください。
- ⑪3・4年60m、3・4年60mH、5・6年800m決勝はタイムレースとします。

⑫ 5年100m、6年100m、5・6年80mH、5・6年4×100mRは、予選の上位記録8名（8チーム）を決勝進出者とします。

⑬ 同記録の競技者がありレーンが不足する場合は、写真判定員主任が0.001秒単位の時間を判定して決定します。それでも決まらない場合は、当該の競技者または代理人による抽選により決定します。

(2) フィールド競技について

① 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とします。マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技となります。

走高跳のバーの上げ方

	練習	1	2	3	4	5	6	以降
男子5・6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	+ 3 cm
女子5・6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	+ 3 cm

② 3・4年走幅跳、ジャベリックボール投は3回の試技で順位を決定します。

③ 5・6年走幅跳は3回の試技を行い、上位8名がそのままのピットで残り3回の試技を行います。

④ ジャベリックボール投はやり投ピットで行い、投てき物の着地場所の範囲の角度はやり投と同じとします。助走距離は15m以内とし、スパイクを使用してもかまいません。なお、ジャベリックボールの羽の部分を持って投げることは禁止します。

⑤ ジャベリックボール投は、各競技者とも連続3回の試技を行います。

⑥ 競技会で使用する（練習も含む）用器具は主催者が用意したものを使用します。

⑦ ジャベリックボール投は、ジャベリックボールを使用します。

8. 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議がある場合は、競技結果が大型スクリーンで正式発表されてから30分以内もしくはつぎのラウンドが行われる場合は15分以内にチームの公式な代表者が競技者インフォメーション(TIC)に申し出てください。

9. 表彰について

(1) 各種目第1位から第8位までに入賞した競技者に賞状を授与します。

(2) 第1位から第3位までに入賞した競技者は表彰を行いますので、競技終了後直ちにメインスタンド下中央の表彰者待機所に集合してください。

(3) 第4位から第8位までに入賞した競技者は結果発表30分後以降に正面スタンド下中央まで賞状を取りに来てください。

10. 競技場使用上の注意について

(1) 競技場は、大切にきれいに使用してください。

(2) グラウンド以外（スタンド・ダッグアウト・本部・アスファルト舗装面等）でのスパイクシューズの使用は禁止します。

(3) ゴミは必ず自宅まで持ち帰ってください。（決して競技場近辺やコンビニ、駅等に捨てていけないこと。）

(4) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管してください。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意してください。

1 1. “日清カップ” 第 3 3 回全国小学生陸上競技交流大会東京都代表について

次の種目の優勝者、優勝チームを、2017年8月19日(土)に神奈川・日産スタジアムで開催される「日清カップ」第33回全国小学生陸上競技交流大会」に派遣します。

【男女とも共通】5年100m、6年100m、5・6年80mH、5・6年4×100mR

5・6年走高跳、5・6年走幅跳、5・6年ジャベリックボール投

※リレーと他の種目に優勝した場合は、リレーを優先します。

(全国大会のリレーは5名で申し込みます。)

該当者は表彰終了後、普及育成部委員の指示に従って全国大会参加の手続きをします。

ただし、以下のいずれかに該当する者(チーム)については、派遣を見送ります。

- ① 競技会の参加資格、参加制限に違反している者。参加資格、参加制限に違反している者が出場しているリレーチーム。
- ② 本年度に開催された他道府県陸協主催競技会に、一家転住及びクラブの解散等特別の事由もなく、本競技会と異なるクラブ(所属)で出場した者(個人登録から団体登録に移行した場合を除く)。リレーについては、その者が出場したチーム。
- ③ 本年度に実施される他道府県の全国小学生陸上競技交流大会予選会に出場または申込をした者、及び出場または申込をした者がメンバーとなっているリレーチーム。

優勝者及び優勝チームが上記に該当する場合、2位以下の者及びチームを順次繰り上げて全国大会に派遣します。

1 2. 第 6 回東日本都道府県小学生陸上競技交流大会東京都代表について

“日清カップ” 第 3 3 回全国小学生陸上競技交流大会東京都代表選手ならびに本競技会で男女とも800mで最も成績のよかった者(選考方法は上記11に準拠して行う。)を北海道函館市千代台公園陸上競技場で開催される「2017(第6回)東日本都道府県小学生陸上競技交流大会」に派遣します。

派遣期間 2017年8月4日(金)～6日(日)

1 3. そ の 他

- (1) 競技中の事故については、主催者が応急処置を行います。以後の責任は負いません。
- (2) 貴重品等は各自・各チームにて管理してください。
- (3) 記録証を1枚300円で発行します。希望者は競技者インフォメーション(TIC)に申し出てください。なお、記録証の受付は17時10分までとします。
- (4) 届けられた遺失物については、競技者インフォメーション(TIC)で保管します。保管期間は競技会終了時までとし、以降は駒沢競技場が管理します。
- (5) 更衣室は、更衣のみとし、ロッカーの使用は禁止とします。
- (6) 保護者及び監督及びコーチではない付き添い人のグラウンド内への立ち入りは、競技運営に支障をきたす恐れがあるため禁止します。
- (7) その他不明な点は競技者インフォメーション(TIC)問い合わせてください。
- (8) 上記の内容につきましては、競技運営上の都合により、大会当日も含めて変更する場合があります。その際は、競技役員の指示に従ってください。

競技会コード：17130010

競技場コード：132090

練習について

最近、競技会において練習中の事故が多発しています。事故が起きないように十分に注意してください。

- (1) 必ず指導者、あるいは保護者がついて行う。
- (2) マーシャル、練習場係の指示に従う。
- (3) 逆走しない。
- (4) 走り終わって直ぐに左右に曲がらない。後方を確認してから走路外に出る。
- (5) 走路上で立ち止まらない。
- (6) 走路を横切るときは左右を確認する。
- (7) 大勢の児童が参加するのでお互いに譲り合って練習する。
- (8) フィールド競技の練習は、競技開始前に各ピットにおいて競技役員の指示に従って行う。

練習場所と時間帯

8 : 0 0	8 : 5 0	1 3 : 3 0	1 4 : 1 0	1 6 : 3 0
↓	↓	↓	↓	↓
【トラック全周】 利用可能	【バックストレート】 女子リレー 5・6レーン 男子リレー 7・8レーン	使用不可	【バックストレート】 女子リレー 5・6レーン 男子リレー 7・8レーン	
【ホーム】 ハードル	ハードル練習不可		【バック】 7・8レーン	
↑			↑	
準備完了			1 4 : 5 0	